

提案書および見積書等作成要領

提案書および見積書等については、本要領に従って作成してください。

1 提案書の内容

本市が求める福岡市営渡船（志賀・博多間）新船製造における趣旨を十分に理解し、資料 1「福岡市営渡船（志賀・博多間）新船製造 要求水準書」および資料 3「評価基準表」の内容を踏まえ、下記の項目について、提案者の持つ知識や経験等を最大限に活かした提案を行ってください。

（1）基本性能

- ①基本コンセプトと提案の概要について（一般配置図含む）
- ②緊急時の離島航路投入について
- ③外観について（イメージ図 全景、客室等）
- ④設定条件における航海速力について（何%出力で航海速力を出せるか）
- ⑤工期末引き渡しについて（提案内容の実現性）

（2）航海性能

- ①構造、耐波性、復原性、推進性、操船性が良好な船形及び装備について
- ②固定式減揺装置について
- ③安全最少定員 2 名で運航できる条件について
- ④操舵室前面窓及び側面窓の視界映り込み防止について

（3）船内性能

- ①利用者が快適に乗船できる内装や船内レイアウトについて
- ②室内客室の座席の形状やレイアウトについて
- ③デッキ客室のデザイン、レイアウトについて
- ④振動及び騒音の低減対策について（設定条件における騒音予測値を記載すること）
- ⑤バリアフリー配置図

基準との整合性を記載すること。また、推奨の仕様を満たした項目については、明記すること。

（4）機関性能と CO₂・維持管理費削減

- ①選定した主機関について
- ②選定した補機関について
- ③CO₂ 等の排出削減について
- ④維持管理費の削減について（ライフサイクルコストを考慮すること）

(5) 係船・乗降性能

- ①各港のかさ上げ台及び係船ビット位置に対する乗降口について
- ②離着岸の操作性能向上、係船機器の装備状況について
- ③両舷着棧・係船について

各港の接岸検討図を「3 見積書等の内容(3) 接岸検討図」として提出すること
ただし、非常時にのみ投入する玄界島航路、小呂島航路については、提案時は作成不要とする。

2 提案書の作成方法

- (1) 提案においては、専門知識を有しない者にも理解できるよう配慮し、図や表などを適宜使用するなど、見やすく明確な提案書を作成してください。
- (2) 提案において使用する言語は日本語、単位は計量法（平成 4 年法律第 51 号）に定めるもの、通貨単位は円、時刻は日本標準時とします。ただし、速力については「ノット」を使用してください。
- (3) 様式 4-2 および様式 4-3 に記載してください。様式 4-3 については、A4 サイズに織り込んでください。
- (4) 提案書は項目毎に作成し、提案書全体で 20 ページ以内としてください。
- (5) 全体をフラットファイル等で綴ってください（左綴じ）。
- (6) 文字の大きさは 10.5 ポイント以上にしてください（図表部分は除きます）。
- (7) ゴシック体、太字、下線等により、キーワードを強調しても構いません。
- (8) フラットファイル等に綴った場合でも見やすいよう、適切な余白を確保してください。
- (9) 各ページ右下に、ページ番号を付してください。
- (10) 片面印刷としてください。
- (11) 「（あて先）福岡市長」、標題「福岡市営渡船（志賀・博多間）新船製造 提案書」、参加資格通知に記載された登録番号および提出年月日を記載してください。
また、表紙は様式 4-1 を使用し、正本（1 部）のみ、押印、提案者名（企業名）および担当窓口（所属名、担当者名、電話番号、FAX 番号および電子メールアドレス）を記載してください。
- (12) 提案書には、提案した企業名等がわかる記述を一切しないようにしてください。

3 見積書等の内容

提案者は、提案書の内容および資料1「福岡市営渡船（志賀・博多間）新船製造 要求水準書」の条件を満たす船舶における、下記の項目について、提出してください。

- （1）見積書
- （2）速力馬力計算書
- （3）接岸検討図
- （4）要目表

4 見積書等の作成方法

- （1）見積書等において使用する言語および通貨は、日本語および日本国通貨に限ります。
- （2）「（1）見積書」は様式5、「（4）要目表」は様式6に従い記載してください。その他については様式の定めはありません。
- （3）枚数の制限はありません。
- （4）1（4）④で維持管理費用低減について、提案書への記載を求めています。維持管理費用は見積書には含みません。